

# かながわの交通

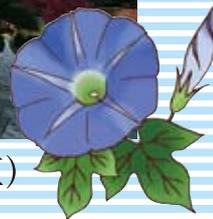
20178月号

交通安全年間スローガン受賞作品 (文部科学大臣賞) こども部門

## おともだち むこうにいても みぎひだり



サルスベリとベイブリッジ (横浜市西区)



### 二輪車運転気をつけて!

ヘルメットはもちろん、胸部プロテクター・エアバックを着装しましょう。

二輪車運転講習で「安全運転の知識と技能」を習得しましょう。

定期開催	神奈川県警察～セーフティライダー・スクール (SR)
	二輪車普及安全協会～グッドライダーミーティング (GM)
警察本部・警察署では警察官を派遣して企業や学校などで講習会を開催しています。 問い合わせは(公財)神奈川県交通安全協会まで	



◎県内の交通事故発生概況(平成29年7月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数		総数	男	女
平成29年		16,053	76	18,956	県人口	9,161,855	4,572,037	4,589,818
平成28年		15,447	69	18,317	免許人口	5,618,007	3,227,309	2,390,698
増減数		+606	+7	+639	割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人
増減率		+3.9	+10.1	+3.5				

(県人口は平成29年7月1日、免許人口は平成29年6月末現在)

# 交通死亡事故(平成29年上半年)の特徴

## ～交通死亡事故(死者数67人)の分析～

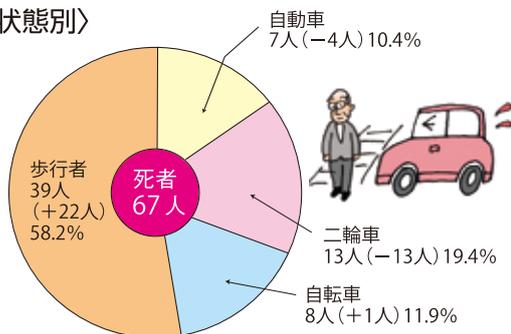
- 前年同期比+11人で全国ワースト第6位
- 各月では1月と5月が過去最少
- 歩行者の事故(39人)が大幅に増加し、全体の約6割を占めています。

「第10次神奈川県交通安全計画(平成28年度～平成32年度)」

**交通事故死者数 年間150人以下**

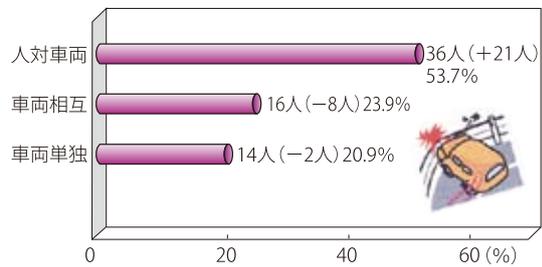
の目標達成に“黄色信号”今後の交通死亡事故抑止対策に全力を!

### 〈状態別〉



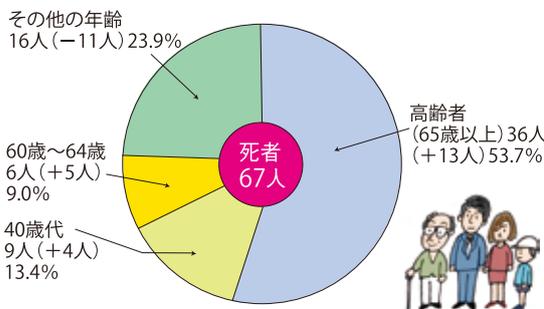
※歩行者と自転車が増加し、特に歩行者が大幅に増加しており、そのうち高齢者は24人で約6割を占める。

### 〈事故類型別〉



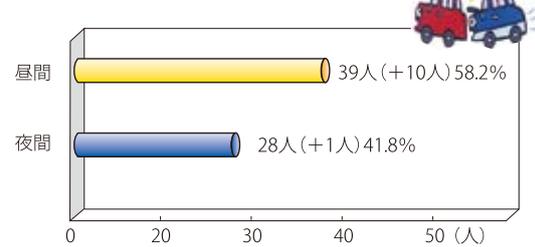
※車両相互が減少しているが、人対車両が大幅に増加している。

### 〈年齢別〉



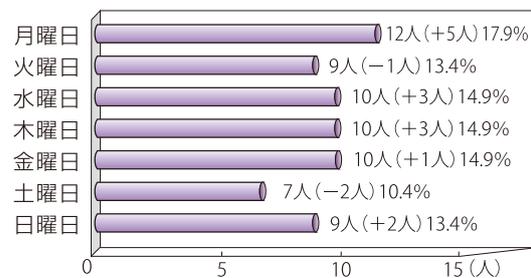
※高齢者が増加し全体の5割以上を占めておりそのうち歩行中が24人(+12人)、自転車乗用中が6人(+4人)と増加。

### 〈昼夜別〉



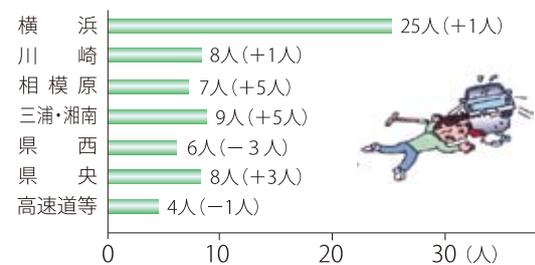
※時間帯別では午後4時から午後6時までが9人(+6人)、午後10時から午前0時までが10人(+9人)と多くなっている。

### 〈曜日別〉



※月曜日が一番多いが、ほぼ平均している。

### 〈地域別〉



※県西地区は減少し、相模原・三浦・湘南地区が大幅に増加している。

注：( )内は前年同期比、%は全死者数に占める割合を示す。

～ 夏の交通事故防止運動結果 ～

//// //// 交通事故発生件数・負傷者数増加 //// ////

7月11日(火)から20日(木)までの10日間、神奈川県交通安全対策協議会主唱の下、県内各地区で夏の交通事故防止運動を実施しました。(巻末参照)

厚木警察署管内交通安全協会では、愛川町の河川敷でバーベキューを楽しんでいる家族連れ等に対して、啓発物品等を配布しながらハンドルキーパー運動を行い飲酒運転根絶、相模原北交通安全協会では、地域の県立高校正門前で自転車通学の生徒に対して、チラシ等を配布しながら自転車事故防止を呼びかけるなど、それぞれ交通安全運動キャンペーンを展開しました。

期間中の交通事故死者数は1人(前年比-6人)で減少しましたが、発生件数、負傷者数はともに増加しました。

◇期間中の県内の交通事故発生概況

区 分	発生件数(件)	死者数(人)	負傷者数(人)
本 年	924	1	1,076
前年同期比	+167	-6	+198
増減率(%)	+22.1	-85.7	+22.6

※亡くなられた方は歩行者で、保土ケ谷バイパスで被害に遭っています。



厚木警察署管内交通安全協会



相模原北交通安全協会



第50回二輪車安全運転全国大会  
神奈川県チーム団体第7位

去る8月5日、6日の両日、三重県の鈴鹿サーキットで第50回二輪車安全運転全国大会が開催されました。神奈川県代表として

- 一般Aクラス(400CC)佐藤嵩太郎 ●一般Bクラス(750CC)石見光隆
- 高校生等クラス(50CC)飯田大稀 ●女性クラス(50CC)加藤由貴子

の各選手が出場しました。

神奈川県チームは、橋本監督以下少数精鋭のコーチ陣による熱心な指導と、サポーターの方々の手厚い支援を受けて、6月の県大会以降猛暑の中での特別訓練を重ね、チームワークを発揮して各クラスで奮闘した結果、団体は総合第7位、個人では、一般Bクラス石見選手が3位、女性クラス加藤選手が5位でそれぞれ入賞を果たしました。



(神奈川県チーム選手、監督)

大会の様様

● 大会前日

監督、選手、サポーターが早朝から新横浜の県協会会館に集合し、県協会大型バスに荷物を積み込み、県協会職員の見送り、声援を受けて出発。東名高速道路を経由して午後4時頃会場入りし、荷物を紐解く間もなく、監督、選手は競技会場の下見を行い、大会本番に備えました。

● 1日目

正午からの開会式に臨み、台風5号の影響で天候が変わりやすい中、午後1時30分から、Aブロック女性クラス、Bブロック高校生等クラス、Cブロック一般Aクラス、Dブロック一般Bクラスに分かれて競技がスタートしました。暑さと緊張感の中でしたが、練習で培った技術を発揮し団体総合第7位で1日目を終え、団体上位入賞へ望みをつなぎました。

● 2日目

朝方は時折雨が強く降る空でしたが、天候も回復し、厳しい暑さに熱中症も心配される中、各選手は最大減点のないよう落ち着いて競技に臨み、「チーム神奈川」に徹した結果、団体では第7位入賞、個人では石見選手と加藤選手が入賞を果たしました。帰路のバスの中で反省会を行いながら、来年の団体優勝を目標にすることを誓いました。

監督、選手の皆様お疲れ様でした。

サポーター、関係者の皆様方、ご支援・ご協力ありがとうございました。



(石見選手のスラローム)



(加藤選手の悪路応用走行)

## 第48回交通安全子ども自転車神奈川県大会

### 4年ぶり2回目の優勝!!

厚木警察署管内交通安全協会 事務長 渡辺秀教

今回、優勝した厚木市立清水小学校は、平成25年の初優勝以来2度目の優勝をすることができました。清水小学校は、ISSを平成22年・25年に取得し安心安全を積極的に取り組んでいる学校であります。そのため、学校の積極的な協力もあり、今回はこのような素晴らしい成績を残すことが出来ました。また、高齢者チームも連続で優勝することが出来ました

大会の参加に際し、当協会の役員・交通指導員、厚木警察署、厚木市役所、田口監督等の協力を得て、練習の準備、選手の指導、激励会等を進めることが出来ました。関係の皆様方には深く感謝を申し上げます。

各地区、指導者の皆様も、生意気盛りの子供達にどのように指導していくかが悩む点だと思います。練習中、ふざけたり、いかに集中させて練習するかが難しいところですが、私たちは緊張感を高めるため、練習中でのテストを繰り返したり、選考会等での競争意識を高め、工夫を凝らしてまいりました。

当日の大会では、選手全員が日頃の成果を全て出し切った成績でありませんでした。チームは丸一となって戦い、他のチームとは僅差で勝利したと思います。

大会で、一番印象に残ったのは、高齢者チームが優勝したときに、選手の子供達が自分の事のように、一緒に優勝を喜びあったことです。高齢者チームは、子供達と一緒にコースで練習し、時間があれば子供たちの練習のお手伝いをしていただき、子供達も感謝の心が表れたと思います。大会を通じて感じたことは、「夢や目標を持たなければ、何も生まれない」との言葉です。選手は、全国大会入賞をめざし、頑張ります。



\*ISS (インターナショナルセーフスクール) ~より安全な教育環境づくりを目指す学校 (幼稚園、小中学校、高等学校、大学など) に与える国際認証。

## 「セーフティレーニング」の開催

### ～参加・体験型安全運転実技講習会～

7月2日(日)、(一社)日本自動車連盟、(一社)日本自動車工業会、(一財)全日本交通安全協会共催、神奈川県、神奈川県警察本部、(公財)神奈川県交通安全協会、神奈川県自動車ディーラー交通安全対策協議会等後援による、平成29年度「セーフティレーニング」が関東運輸局神奈川運輸支局で開催されました。このトレーニングには、抽選により選ばれた26名(男性22名、女性4名、最高年齢71歳)が参加し、開講式に引き続き、日本自動車連盟のインストラクターの指導によりトレーニングが開始されました。



今回のカリキュラムは、「運転の基本(運転姿勢・点検・死角)」や正しいハンドル操作、車両感覚などの本項目のほか、ASV(衝突被害軽減ブレーキ)の体験走行などで構成されており、より実践的な講習内容となりました。

受講生からは、「スラローム走行やASVの体験ができて良かったです」などの感想が寄せられ、閉講式では日本自動車連盟神奈川支部から受講者全員に修了証が手渡され、トレーニングが修了しました。

《県民功労者表彰～受賞おめでとうございます》

川崎臨港交通安全協会会長 大川原 久 氏

去る6月13日、神奈川県庁本庁舎3階大会議場において、川崎臨港交通安全協会会長等として、多年にわたり交通安全思想の普及啓発活動を積極的に推進するなど、地域における交通事故防止に優れた成果を上げた功労により、公共の福祉に貢献し、その業績が特に優れた方々を広く顕彰することを目的とした県の最高表彰の一つである本表彰を受賞しました。



《運転免許試験コースで運転練習ができます》

**こんなあなたに「ピッタリ」です!**

- ★ 免許を持っているが運転に自信のない方
- ★ 外国免許からの切り替え実技の確認を受ける方
- ★ 仮免許、限定解除等の技能試験を受ける方

【練習できる日時】

- 土曜、日曜及び祝日の指定された日  
(年末年始等指定日を除く)
- 午前9時から午後4時まで
- ※日時については、変更する場合があります。



【予約・申込み時の注意事項】

- ◎持ち込み車両
  - バス、トラック、けん引車、大型特殊車は補助ブレーキを備えた車両に限ります。
  - 普通自動車は長さ4.9メートル以下、幅1.8メートル以下の車両に限ります。
- ◎レンタル車両
  - 県交通安全協会が準備したものに限りります。
- ◎指導員の同乗
  - 普通二種免許を除き指導員の同乗が必要です
  - 大型車・中型車・けん引車・大型特殊車・準中型車・普通(MT)車は安全運転指導員として指定された者
  - 普通(AT)車は日本の当該免許取得後3年以上の者
  - ※レンタル車で練習は、普通(AT)車を除き練習車には県交通安全協会が指定した指導員の同乗が必要です。



【練習出来る車両・手数料】

(1時限50分単位)

	車両レンタル		
	車両持込	指導員同伴	安全運転指導員
普通自動車	3,700円	6,250円	8,600円
準中型トラック	4,050円	7,850円	10,200円
大型バス	4,050円	8,950円	11,300円
大型トラック	4,050円	8,550円	10,900円
中型バス	4,050円	8,700円	11,050円
中型トラック	4,050円	8,300円	10,650円
大型特殊	4,050円	8,100円	10,450円
けん引自動車	4,050円	7,650円	10,000円

◎申込み方法

練習を希望する前日までに電話又は直接窓口で予約してください。

- 受付開始日 2週間前
- 受付時間 午前9時から午後4時(年末年始の休日を除く)
- 電話番号 **045-362-3468**
- 受付窓口 神奈川県運転免許試験場1号館 1階技能試験待合所内

※神奈川県交通安全協会ホームページ上でも確認することができます

## 交通事故の悲劇に学ぶ ⑤0

### ●「誠意」

電気工事士(20歳)

ある年のお盆休みの真っ最中、私の会社は連休だったため、私は、溜まっていたストレスを発散するかのように昔の友人と遊ぶなどして休暇を過ごしていました。

その日も、朝から高校時代の友人達と海に行き、楽しい時間を過ごしていました。車で来ていたのでお酒も飲まず、何事もなく無事に家に到着しました。夜から会社の同期が集まり、遊ぶ予定があったので、家に帰ってすぐ寝てしまいました。夜遅くに家のチャイムが鳴り、ドアを開けると、職場の同僚が起こしに来てくれましたが、私は何も準備していなかったので「先に行って。」と伝え、急いで準備しました。しかし、この時、海へ一緒に行った高校の友人もいたため、まず友人宅へ向かいました。家を出て、いつもの慣れた道を走っていました。その道路は、片側1車線の一方通行の道路であり、見通しのよい場所でしたが、その時は夜で街灯もなく、視界も悪かったのを今でも覚えています。

制限速度50kmの道路を明らかにオーバーした速度で走っていた時、左にバイクがいたのが横目で見えました。こんな所にバイクがいたのかと思い、前を見た瞬間「ドーン」と言葉に出来ない、すごい音とともに右側にあった段差に乗り上げ、ブレーキを踏み、車が止まりました。何が起こったのか分からず、車内は煙に覆われました。車を降りた瞬間、足元にはぐちゃぐちゃになったバイクの姿がありました。「まさか。」と思いつつ、すぐに救急車を呼び、被害者のもとへ行くと血だらけになった人の姿があり、声をかけると手を少し動かしてくれました。「息をしている」。と思ったのも束の間でした。誰かが「もう一人いる。」と言い、その場に行くと血は流していませんでした。しかし、脈を測ると脈がありませんでした。声を掛けても何も返事がありませんでした。私は救急車が来るまで何も考えず、必死に心臓マッサージをしていました。救急車と警察が来て、私はその場で現行犯逮捕され、留置所に入りました。

警察署で被害者の一人の方は一命を取りとめました。もう一人の方は亡くなったと聞きました。それからは家に帰るまでほとんど記憶がありませんでした。



イラストは本文とは関係ありません

私が家に帰ると、家族から新聞やニュースになっていたと聞かされ、これから何をしていけば良いのかと考えました。家族や友人にも迷惑を掛け、なにより被害者の方に取り返しの付かないことをしてしまいました。

少し日が経ち、ご遺族に謝罪させてもらえる日が来ました。「これからどう償ってくれますか。」私は、「お墓参りや事故現場、ご命日に仏壇に手を合わさせて下さい。」と述べました。当時の私は「償い」という言葉の意味を理解できていませんでした。

「それは当たり前だ。」この言葉を言われ、私は返す言葉は出ませんでした。「償い」とは何なのか。全く分かっていなかったのです。そのまま何も言葉を出せず、その日の最後に「誠意を見せて欲しい。」と言われました。

私は人を殺めてしまい、謝罪や償いも当たり前のことしか出来ず、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。自分の一生に何かを科すのは当たり前であり、ご遺族の方の希望に沿う以上のことをするのが誠意であると思えます。

受刑生活を通して、私のしてしまったことの重大さをきちんと受けとめ、出所後はご遺族の方にとしっかりと謝罪と償いをさせていただきたいと思っています。また、私を含めこのような事故を起こしてしまった方もご遺族の方をさらに苦しませることなく、一生を掛けて、誠意のある謝罪や償いに臨まれることを心から願います。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行  
「贖いの日々(第51集)」から～

### 賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- (株)アイエンス \_\_\_\_\_ 秦野市落合
- あいざわ(株) \_\_\_\_\_ 横浜市金沢区鳥浜町
- (株)新井出版 \_\_\_\_\_ 東京都品川区大崎

この人

140



(財)麻生交通安全協会  
会長  
関口 達雄さん

せきぐち たつお  
関口 達雄さん

本年、創立30年を迎えました。一般財団法人麻生交通安全協会、第四代会長の関口達雄さんをご紹介します。

関口会長は、昭和17年に地元(当時の地名は餅坂)農家の長男としてお生まれになりました。自宅周辺は山と田畑ばかりのところで、終戦時は、周囲に17戸あった農家がアメリカ軍の爆撃で焼失し、わずか5戸になってしまったそうです。

子供の頃の思い出として、中学校を卒業するまで毎朝、登校前に自宅で飼っていた馬に餌をやるために草刈りに行っていました。そして、近所の農家でも同様に家畜として牛や馬を飼っていたのですが、現代と違って娯楽の少ない時代でしたので、当時の大人達は自宅で飼っている自慢の馬を集めて、現在の町名では、多摩美にあった馬場で行う草競馬に夢中になっていたそうです。

昭和46年に結婚し、それまでは農業・筋でしたが、5年後位から周辺の人口が増加し始めたので、敷地の一部にアパートを建設すると同時に、文具店を開業しました。

その頃から、当時の多摩消防団長沢田、多摩青少年指導員、多摩交通安全協会支部

役員として、ボランティア活動に従事していましたが、昭和62年4月に麻生警察署の新設と同時に発足した麻生交通安全協会の麻生東支部役員となり、交通指導員、地域交通安全推進委員、交通安全協会副会長等を歴任し、平成19年5月に会長就任され、今年6月には、神奈川県交通安全協会の評議委員長に選任され現在に至っています。

関口会長の性格は温厚で真面目を絵に描いたような方です。ので、何事に対しても真剣に全力で取り組まれ、協会の事業運営はもとより各季の交通安全運動、地域における各種行事にも積極的に協力参加され、会長としてのリーダーシップを遺憾なく発揮されています。

地区会長ならぬ方は、いずれの方々もそうであります様に、協会会長の肩書きの他にも多数の役職に就いておられますが、関口会長も例に漏れず神奈川県遺族会や農協、神社等の役職を兼任されており、年間行事予定が真っ黒になるくらい多忙な日々を送っておられます。このハードな毎日をこなせる秘訣を伺ったところ意外にも、朝起きる前に布団の上で首を左右に各



10回くらい捻る運動と、足を伸ばしたままで交互に20回くらい上げ下ろしする運動だけで起きた時に身体がすっきりし、二日を元気に過ごせるそうです。

関口会長の趣味は、山歩きとお花見で、毎年二回から三回、奥様と一緒に各地に出かけられるそうです。特にユリの花と蘭がお好きだそうです。それ故か警察署、協会が開催する各式典の折には必ず、胡蝶蘭の鉢植えを寄贈されておられます。

会長は、御年70歳を超えておられますが、交通安全運動期間中や交通安全日にはほとんど毎日、ご自宅近くにある長沢小学校の通学路において、街頭監視活動を実施されておられます。通学途中の子供達と交わす「おはよう」の挨拶が何よりの生き甲斐になつておられるとのこと、いかにボランティア精神豊かで地域を愛していらっしゃるか想像ができます。

今後とも、ご健康に留意され、末長く麻生区の交通安全推進活動にご活躍を願いたいと思っております。  
(取材協力：麻生交通安全協会)

こんにちは  
「大磯地区交通安全協会」です

大磯地区交通安全協会は、大磯町、二宮町を管内としていますが、両町は白砂青松の相模湾に臨み、自然環境の恵みと由緒ある歴史・文化にも恵まれ、東西を貫通する旧東海道は国道1号線として経済流通の要衝となっています。

両町にまつわる今に続く歴史を振り返ってみますと、

「宿場町」…東海道に位置する大磯町は、旅籠屋も多数で本陣が3軒あり大いに賑わって、秋には宿場祭り(後述)が行われており、二宮にも脇本陣がありました。

「別荘地」…明治20年代から政府の中心人物や旧大名などが別荘を構え、有名なのは伊藤博文の滄浪閣であり、現在、国登録有形文化建造物申請の旧木下邸なども残っています。

「国府祭」…千年以上の悠久の時を経てなお受け継がれている伝統で、相模の国一宮の争いを神事化した「座間答」や「鷲の舞」などが毎年5月に行われています。

「海水浴場発祥の地」…病気の療養を目的とした海水浴に注目した医師の松本順が、明治18年に日本初の海水浴場を大磯町で開き、今でも賑わっています。

さて当協会の新年は、「交通安全出陣式(特別点検)」を実施し役員・指導員・母の会が一同に会し、士気高揚を図るとともに、地域内の神社で交通安全祈願を行い1年がスタートし、管内から悲惨な交通事故撲滅のため、積極的に各種事業に取り組んでいます。当協会が協力している主な両町の行事を一部挙げてみますと、「左義長祭」…国の重要無形民俗文化財に指定され、大磯町北浜海岸で行われ、セトパルエともわれる正月の勇壮な火祭りの様相は壮観です。9基のセトに一齐に火が入られ、この火でダンゴを焼いて食べると風邪をひかず、松の燃えさしを持ち帰って屋根に置くと火災除けになると言われています。

また、「ヤンナゴッコ」は、セトの火が燃え盛る中浜方と陸方に分かれ、道祖神を載せた綱を引き合う珍しい行事です。

「二宮菜の花ウォッチング」…毎年12月ごろから咲き始め、1～2月にかけて見頃を迎える県下で最も早い「早咲きの菜の花」と富士山・相模湾の一望を見ようと、年々客が増加し交通事情も複雑化しています。

「宿場まつり」…東海道五十三次で江戸から数えて8宿目の大磯宿は、恵まれた自然と歴史的財産を数多く有する希少な地であり、旧宿場付近に残る松並木は、



浮世絵の題材にもなっており、現在でも交通の要所で、毎年11月、ここを舞台に江戸時代の賑やかさを再現し、人々の触れ合いを生んでいます。

「夏祭り」…二宮町は、7月に3日で済みますが、大磯町では4月から夏にかけて、12か所の地区ごとに行われるので、土曜・日曜にほとんど出務する交通指導員の負担は大きいです。

以上、簡記しただけでも交通安全運動、町事業など年間の出務が多いなか、各地区協会と同様に、役員・指導員・推進委員などの高齢化が進むとともに、受けても少なく、今後の活動が心配される状況ですが、協会一丸となって交通事故防止に取り組んでいます。

(宮戸 記)

地区交通安全協会の活動紹介



磯子

警察署玄関前に地区の幼稚園児らが集い、七夕飾りを飾って夏の交通安全防止を呼びかけました。



葉山

一色海岸、長者ヶ崎海岸でのぼり旗を掲げて巡回、海水浴客らに啓発チラシ等を配布して交通安全防止を呼びかけました。



大磯

夏の交通事故防止運動初日、スーパー「ザビツク」前でのぼり旗を掲げ、啓発物を配布して交通安全防止運動を実施しました。



逗子

JR逗子駅前において、警察署等と連携し、ミニ白バイの展示や啓発物を配布して夏の交通安全防止を呼びかけました。



藤沢北

小田急線湘南台駅地下通路で「海の女王」が参加し、通行人らに啓発物を配布して、夏の交通安全防止を呼びかけました。

相模原

国道16号線相模原警察署前で、警察署と連携し、のぼり旗等を掲げ夏の交通安全防止を呼びかけました。



伊勢佐木

桜木町駅前に白バイやパトカーを展示、子供や観光客らが乗車体験。また、通行人等に啓発チラシを配布して夏の交通事故防止を呼びかけました。



小田原

JR小田原駅自由通路において、「箱じろう」など、3町のゆるキャラらが参加して通行人等に夏の交通事故防止を呼びかけました。



金沢

京急能見台駅前広場のぼり旗を掲げ、通行人等に啓発物を手渡しして交通安全防止を呼びかけました。



大和

大和駅前広場において、警察署と連携し、駅利用者等に、交通安全のうちわや反射材などを配布し、夏の交通事故防止を呼びかけました。



夏の交通事故防止運動

インフォメーション

- グッドライダーミーティング ————— 9月2日(土)
- 地区交通安全協会会長会議 ————— 9月14日(木)
- 秋の全国交通安全運動 ————— 9月21日(木)～30日(土)までの10日間
- 二輪車安全運転講習会 ————— 9月23日(土)
- 交通事故死ゼロを目指す日 ————— 9月30日(土)